

一般質問

佐々木 常子 議員



ここからは

一般質問 7人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

質問のねらい

手厚く切れ目のない子育て支援を

本年度から町でも産後ケア事業が始まったが、小さく生まれた赤ちゃんとそのお母さんを孤立させないためのツールとして、低出生体重児の発育曲線や先輩ママの助言などが載っている「リトルベビーハンド

ブック」の導入が重要である。また、3歳児健診の視覚検査において、弱視の早期発見に有用な「屈折検査機器」の導入が必要である。弱視は早期発見できれば治療が可能であるため、迅速な機器の導入が求められる。



視力検査器具

ここが聞きたい

3歳児健診に屈折検査を

問 乳幼児の弱視等は早期発見すれば治療が可能であり、屈折検査機器はその弱視等の検出に優れたもの。厚生労働省による半額補助事業を利用するなどして、導入するべきでは。

答 他自治体の導入実績から早期治療につながる成果が確認され、有効性が高いと認識。視覚検査の精度向上は子育て施策充実にもつながる。導入や検査実施方法の見直し等を検討していく。

ここが聞きたい

リトルベビーハンドブック

問 一般的な母子手帳は低出生体重児への配慮がなく、記入する保護者が苦痛を感じる場合がある。低出生体重児の発育曲線や先輩ママの助言が載ったリトルベビーハンドブックが必要では。

答 低出生体重児は、関係機関の連携した支援が必要であるため、広域の医療機関等で活用できる統一されたものが必要。町としては道に要望していく考えである。



苫小牧市リトルベビーハンドブック(苫小牧市提供)

ここが聞きたい

スクールバスの通年利用を

問 スクールバスは通学距離 2 km 以上でも小学3年生以上は冬期間のみ。小学3年生以上でも自転車の扱いが心もとない子どもおり、保護者も心配している。小学6年までは通年利用とすべきでは。

答 スクールバスは国の規則に準じた運営をしており、国の基準を超えると、国の支援が受けられないことや、子どもの体力低下等につながる恐れもあるため、運行はこれまで通りとしたい考え。



スクールバス



一般質問

澁谷 俊和 議員

質問の
ねらい

今後の事業の見通しは

とうべつ学園の建設が終わったが、今後も役場庁舎や町営住宅の新設、上下水道や橋梁の老朽化など、公共施設へ多額の支出が予想される。その見通しを明らかにすることが町民の判断に影響を与える。特に

町営住宅新設については、具体的な見通しを示すことで、入居者は不安がなくなり、今後の身の振り方も考えられるのではないかと。多くは検討中かと思うが、分かることから1日も早く発表すべきではないか。

ここが
聞きたい

入札工事の高い落札率続く

問 99.69%、98.59%など落札率の高い工事が報告されている。業界筋や学者の間では、95%以上が続くのは予定価格漏えいや談合の可能性があるかと指摘。町長はどう考えているか。

答 以前にも、予定価格設定は適正と前町長から答弁したが、私も同じ考えである。今後も入札における透明性、競争性、公平性、経済性を確保し、適正に行われるよう、その姿勢を貫いていく。

ここが
聞きたい

最近の政策カタカナが多い

問 デジタルファーストやチャイルドファースト、クオリティファーストなど、横文字ばかりの政策が出ており、年配の人には分かりづらい面がある。大枠が分かるように日本語も必要では。

答 日本語訳が難しい、既に一般的という用語はカタカナを使用。難しい用語は説明を加えるなど工夫している。町民理解が何よりも重要なため、今後も分かりやすく伝えるよう心がけていく。



末広団地

ここが
聞きたい

町住建て替えを急ぐべき

問 町営住宅の建て替えに大賛成だが、今後の見通しを示さなければ、入居者は将来の身の振り方が決まらず、不安な生活を送ることとなる。一日も早く、具体的に今後の見通しを示すべきでは。

答 今後の計画等についてはホームページへ掲載するなど周知を図っていく。入居者に対しては、引き続き移転時期、移転先、新たな家賃設定など、丁寧に説明を行い、不安を取り除くよう努める。

ここが
聞きたい

冬場の除排雪対策

問 今年2月にも一晩で40数cmという例年にない大雪があったが、人口増を図る町としては、このような事態が続いては大変である。全町民が安心できる除排雪対策の具体的な展望を示しては。

答 この2年を踏まえた計画的な除排雪実施に向け、発注方法や地域との協働など広く検討を行っている。今後は課題を精査し、8月には新たな当別モデルを固め、9月議会で具体的に示したい。



排雪作業の様子

【その他の主な質問項目】

新庁舎建設費用や上下水道更新費用の見通し など

一般質問

山田 明 議員



質問の
ねらい

役場新庁舎の建設

基本構想案が示されて以降、多くの町民がこの事業に関心を持っており、町民からさまざまな意見を耳にする。特に若い世代で活発に議論されている。そこで検討委員会での検討状況、昨今の世界情勢及び経済動

向による建設への影響や、庁舎建設と関連した中心市街地の在り方、さらに駅前に建設予定の民間施設の活用について、町長の考えを伺った。

ここが
聞きたい

検討委員会の検討状況

問 町は新庁舎建設検討委員会を組織し、現在、基本構想素案に基づき協議を進めていると捉えている。これまで2回検討委員会を開催したようだが、その検討状況や検討内容は。

答 今年2月開催の第1回では、基本構想素案の説明と意見交換を行っており、6月開催の第2回では、想定規模、複合化等の説明と意見交換が行われ、活発な議論がされている。

ここが
聞きたい

経済動向による影響は

問 昨今の世界情勢を見ると、社会全体が不安定な状況が続いている。原油高、人手不足、円安など経済動向も見通せない状況が続いているが、庁舎の早期建設が必要との考えに変わりはないか。

答 庁舎は防災上重要拠点であり、早期建設が必要との考えは変わらない。しかし、将来的な負担を伴う事業であるため、規模感や複合化等の検討に当たっては、慎重な対応が必要と考えている。



J R 当別駅

ここが
聞きたい

中心市街地の在り方

問 検討委員会では候補地についても議論されており、町長が総合的に判断していくと考えているが、庁舎建設と関連した中心市街地の在り方については、どのように考えているか。

答 候補地は駅周辺の利便性を高める目的から、都市機能誘導区域内とした。新庁舎を契機に都市機能を集約する中心市街地として、駅周辺を人の流れや賑わいが生まれるエリアにしていきたい。

ここが
聞きたい

民間施設の活用

問 新聞報道によると駅前に建設予定の民間施設の活用について話題となっていた。中心市街地の活性化に向けた取組として検討されていると考えるが、町長の考えは。

答 事業者からは、まちづくりに協力したいとの意向を伺い、民間施設に図書館などの公共機能を持たせることができれば、庁舎のコンパクト化やコスト低減につながる。具体的な協議を進めたい。



当別町図書館



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

農産物の生産が危うい、対策を

4月の感染拡大を二度と経験しないために方策の検討が必要だ。肥料、飼料、燃料の高騰が経営を圧迫し、来年度以降の農産物生産を危うくしている。再生可能エネルギーの推進は、地産地消、地域循環型で進める

べき。3月議会では、全議員の提案でロシアによるウクライナ侵略に対する決議を採択した。力による現状変更はいかなる国にも認められない。当別町も、「非核平和都市宣言」を今こそ宣言する時期ではないか。

ここが
聞きたい

医療機関への支援強化を

問 医療機関への支援を強化し、感染者や疑いのある人が、十分な医療と検査が受けられるように国に要望すべきであり、同時に町としてもしっかり対応すべきでは。

答 新型コロナ蔓延以降、医療機関には継続的に支援している。4月の感染拡大の収束後、医師懇談会を開き、課題の共有等も行った。引き続き、必要な支援を実施し、国や道へ要望も行っていく。

ここが
聞きたい

緊急対策を国に求めるべき

問 肥料、飼料、燃料の高騰に対する町独自の対策事業を高く評価したい。これらの高騰は農家等の経営を圧迫し、来年度以降の農産物生産を危うくしているため、国に緊急対策を求めるべきでは。

答 6月議会で、町独自に認定農業者を直接的に支援する補正予算を計上。国でも肥料製造業者への支援などが行われる予定であるため、国への要望は今後の情勢を踏まえて検討していく。



当別町の自然

ここが
聞きたい

地産地消、地域循環型で

問 巨大な林道を必要とするなど、これ以上環境破壊を進めるような「再生可能エネルギー」は進めるべきではないのでは。

答 環境破壊につながる再エネは進めるべきでない

が、現行の法律上、町に建設を中止する権限はなく、あくまでも国の権限である。これまで町民の声や議会の意向を国等へ届けてきたが、加えて法整備の必要性も含めて国に働きかけていく。

ここが
聞きたい

非核・平和都市宣言を

問 3月議会で、ロシアのウクライナ侵略に対する決議を全議員で提案し採択とした。力による現状変更はいかなる国にも認められない。今こそ「非核平和都市宣言」をする時期ではないか。

答 戦争のない平和な国、地域でありたいという思いは同じである。平和都市宣言は、町民の総意はもちろん、議会とも歩調を合わせて検討していきたい。



非核・平和へ向けて

【その他の主な質問項目】

新型コロナウイルス検査の頻回実施、水田活用の直接支払交付金の見直しによる影響 など

一般質問

櫻井 紀栄 議員



質問の
ねらい

民間の力を活用したまちづくりを

時代とともに生活スタイルは変化している。若年層の町内流入を見据え、新しいライフスタイルと価値観に寄り添った事業の見直しを目指し、住民と事業主が連携をしながら主体的な参画ができるまちづくりの

ために、①いつでも使用できるベビーケアルーム、②ゴミ問題と幼児期からの環境教育について質した。



道と川の駅 花ロードえにわに設置されているベビーケアルーム (本人提供)

ここが
聞きたい

ベビーケアルーム設置を

問 子ども連れでもストレスなく外出できるように、ふれあい倉庫や駅などへ設置しては。また、公民連携での整備が重要と考えるが、事業者向けに設置補助事業を検討しては。

答 既に道の駅、ゆとり等々に設置。さらなる設置は可動式も含めて検討を加える。民間へは、補助というより、社会の一員として、さらに子育て支援に取り組んでもらえるよう啓発に努めていく。

ここが
聞きたい

脱プラスチック包装

問 脱プラを町全体で推進するため、ふれあい倉庫等の野菜販売からプラスチック包装をやめてはどうか。また、町民の意識向上のため、町の広報でゼロカーボンシティの特集記事を作成しては。

答 鮮度保持、衛生上の観点から、代替品が導入可能かも含めて社会に遅れをとらないよう進めていきたい。また、広報の特集などを活用しながら周知・啓発していきたい。

ここが
聞きたい

企業立地優遇制度の拡充を

問 住民サービス向上に係る事業は町単独実施が難しく、公民連携が重要。そのためにも、今後町に進出してくる企業の支援が必要となるので、企業立地優遇制度の拡充が必要ではないか。

答 公民連携で事業を行う場合は、企業立地促進条例ではなく個別具体的な対応を取る。なお、本条例は、平成30年に業種の拡大、要件の緩和、優遇措置の拡充をしたので、見直しは考えていない。

ここが
聞きたい

生ごみ堆肥化の拡大へ

問 町ではコンポストの補助事業を行っているが、対象は屋外用。庭がない家庭は利用できない。屋内用コンポストは対象になるのか。また、商品を取り扱う事業者へ商品の見直しを呼びかけては。

答 屋内用のコンポスト容器についても補助の対象となる。また、商品の最終判断は事業者。町としては屋内用コンポストも補助対象だということを登録販売店に対し周知することにとどめる。

ここが
聞きたい

こどもへの環境教育を

問 環境教育について、ゼロカーボンシティ推進計画に盛り込み、幼保小中高において一貫した取り組みを行っては。

答 計画には町民対象の環境教育について盛り込まれると聞いているので、学校との連携を検討していきたい。



一般質問

佐藤 立 議員

質問の
ねらい

新庁舎建設費用は既存事業に影響

役場新庁舎は、まちづくりの拠点としてこれから数十年利用する重要な施設であることから、様々な観点からの検討が必要。また、町長が掲げる「チャイルド・ファースト」及びこれまでの町の施策と、「子ども

にやさしいまち」の共通点を明らかにし、長期的展望に立ち、総合的かつ計画的に着実に推進していくために、規範性と実効性を持つ行政運営の指針を設けることの必要性を問う。

ここが
聞きたい

新庁舎建設費用の影響は

問

新庁舎整備に係る費用は、歳入に変化がないとした場合、他の事業を見直し、支出を削減して捻出すると考えてよいのか。

答

建設費捻出にあたっては、補助金や基金を最大限活用することはもちろん、リース料、町債の返済には、既存事業の見直しや削減によって財源を確保していく調整も当然必要と考えている。

ここが
聞きたい

環境変化を見極めてから

問

庁舎をめぐる環境の変化を十分に見極めた上で新庁舎を建設するために、一定程度の期間を空けてから新庁舎建設を行うことも1つの選択肢ではないか。

答

役場庁舎は早期建設が必要であるが、将来的な負担や環境変化に対応するため、民間施設の公的利用など、代替的な手段も並行して検討していきたいと考えている。



現在の役場庁舎

ここが
聞きたい

建物は明確な仕様を定めて

問

ライフサイクルコスト全体で事業費を削減するためには、複数の候補を比較検討した上で、断熱性能やメンテナンスの容易さなど明確な基準を定める必要があるのではないか。

答

概算事業費の算出にあたり、ライフサイクルコストを踏まえた検討が重要と認識している。また、断熱性能やメンテナンスの容易さ等の性能基準設定は、設計に向けた段階で整理していきたい。

ここが
聞きたい

子どもにやさしいまちとは

問

町長が掲げるチャイルド・ファーストは、私が考える、皆でのまちづくり、子どものまちづくり参画、子どもの遊びの環境と機会の保障を目指す「子どもにやさしいまち」と同じ方向性か。

答

町の計画等にも子どもの環境について示しており、チャイルド・ファーストの方向性と合致するもの。子どもにやさしいまちが、これと同じならば、目指す方向性に大きな違いはないと考える。

ここが
聞きたい

行政運営の指針を

問

「チャイルド・ファースト」を着実に推進していくために、規範性と実効性を持つ行政運営の指針を設けるべきでは。

答

第2期子ども・子育て支援事業計画がチャイルド・ファースト推進の指針ともなり得るため、これに基づき施策を行う。

【その他の主な質問項目】

新庁舎候補地・新庁舎へのベビーケアルームの設置、新庁舎建設検討委員会のオンライン配信 など

一般質問

山崎 公司 議員



次のページは

議案の審議結果

本会議では多くの報告や議決が行われました。

質問のねらい

町の知名度を上げる情報発信を

町の地価公示価格は、札幌近郊で唯一、住宅地、商業地共に平成11年から20年以上下がり続け、住宅地平均価格はピーク時の3分の1以下となった。より町の知名度を高める情報発信ができないか質した。開

業5年目となる道の駅とうべつは、じゃらん道の駅ランキングで8位を獲得したが、さらなる改善へ向けたように努力しているか。コロナ禍における「新しい日常」の中、行政サービスはどう変化するか質した。

ここが聞きたい

地域と共に情報発信を

問 町の地価は札幌近郊で唯一20年以上下がり続けている。札幌に近い優位性はあるが、知名度が不足。全国で知られる町内ブランドである企業や学校、地域と共に情報発信を行っては、

答 町を知ってもらうツールとして、企業、学校、地域を活用することは重要と捉えている。町内ブランドを生かした情報発信の視点を踏まえ、町の魅力度向上に努めていきたいと考えている。



ゆとりの窓口

ここが聞きたい

ホームページリニューアル

問 コロナ禍により新しい日常が定着する中、4月に町ホームページがリニューアルされ、2カ月が経過。住民の使用頻度や住民の目線を重視しているか。伝えたいことが十分伝わっているか。

答 昨年同時期に比べ閲覧数は約1.8倍に増加するなど、町の情報に触れてもらう機会が増えてきた。まだ慣れない方もいると思うが、今後もより見やすいホームページ作りに努めていく。

ここが聞きたい

道の駅ランキング第8位

問 開業5年を迎える道の駅とうべつは、じゃらん道の駅ランキングで、昨年同様8位を獲得。高く評価している。今後、さらに道の駅ファンを満足させるため、どのような努力をしているのか。

答 食事などの高評価を受けた部門をさらに磨き、高評価が得られなかった観光情報スペースには工夫を凝らし、道の駅をハブとした町内の交流人口増加につなげていくことが必要と考えている。

ここが聞きたい

窓口サービスの転換

問 従来の窓口サービスは、デジタル化を前提として、非対面、人の分散化、手続きの集約化、省力化、簡略化の観点から見直す必要があるのでは。

答 行政手続オンライン化の対象27業務のほか、要望の多い例えば住民票コンビニ交付等の検討を進める。今後も先進事例を参考に、利便性向上を意識し、費用対効果を見極めて検討していく。

ここが聞きたい

企画部から経済部へ

問 道の駅の所管部署が、設立当初の企画部から経済部に移管された。その理由と狙いは。

答 (株)tobeが6次産業化を推進するため、農業・商工業所管の経済部に移管。経済部各担当と連携をさらに深める目的。

【その他の主な質問項目】

公示価格低迷による町民・行政への影響、シニア向けスマホ教室の参加者の反応 など